福智町のみなさん、お久しぶりです

こんにちは。ごきげいます

私は母が福智町に住んでいるためけっこうな頻度で帰省していますが、ここ最近はみなさんとお目にかかる機会がなくなってきていもので、少し寂しく感じております。それでも、ふるさと福智町への思いは変わることなく、どこにいても、何をしていても常に心はふるさとに寄せています。

そこで私なりにできることとして、私の思いや日常のことなどを綴ったエッセイをお届けしたいと思いました。不定期になるかもしれませんが、これからもみなさんとつながり続けていたいと願う気持ちがあります。

最初の今回は、今年の干支である午年のお話をしたいと思います。本来なら新年を迎えた頃にすべきテーマですが、心機一転を図りやすい年度変わりの春にふさわしいかと思いました。

馬は、昔から行動力や前進力を象徴する動物とされています。それゆえ午年は、勢いのある年、前向きな動きを生む年といわれてきました。

笑馬 笑福

〈第一回〉 ーKKO

SYOHME SYOHFUKU

美容家、ビューティーディレクター、タレント、書家等々…第一線で活躍する福智町観光大使・ーKKOさん。飛躍を重ねる今もなお、故郷・福智町へ暖かなお心を寄せていただいています。その想いを福智町の皆さまへお届けすべく「広報ふくち」では今月号からーKKOさんと福智町をつなぐ新連載「笑馬笑福」をスタート。不定期とはなりますが、今後の展開もお楽しみに！

〈第一回〉 笑福 SYOHME SYOHFUKU

ーKKO（イッコー）
Instagram@love_ikko

美容師、ヘアメイクを経て現在は美容家として常に第一線で活躍中。美のカリスマとして数々のブームを牽引し、ヒット商品も多数プロデュース。国内外での美容に関する受賞歴も多数あり、その存在感は唯一無二の輝きを放ち続けている。

優れた能力をもつ馬「駿馬」のように、エネルギッシュに勢いよく駆けて前に進む年であり、新しい挑戦に適した年というわけですね。

私は12年周期で巡ってくる十二支の干支を、童謡あるものとしてとらえています。干支には、その年の生き方を示唆するヒントが含まれていると思うからです。それで毎年、新年にはその年の干支にちなんだ言葉を、心に刻む指針として筆書にしたためています。

今年は「駿馬」と「笑馬」という2文字を書きました。「笑馬」は私の造語ですが、書家の先生に見ていただくと、その童謡に傾心してくださいました。

なぜ「駿馬」に「笑馬」を加えたかというと、今のような不安定な時代は、いつも笑って過ごすことが何より大切だと考えたのです。駿馬を目指しつつも、前だけを見て走り続けるばかりでは、息切れが生じるほか、周りを見て配慮する余裕すらなくなってしまうかもしれません。人はやはり、いつもなごやかな気持ちを持ち続け、笑顔を忘れない、笑馬の二面が必要なんです。

そして今回は、そこに「笑福」の文字をプラスして、「笑馬」「笑福」という言葉をみなさんにお送りしたいと思いました。笑う門には福来るというように、笑いは福を呼び込みます。たとえ困難なことがあっても、「苦しいときこそ笑え」といわれていも通り、笑顔を心掛けていると開運を招くはずです。

みなさんも、今年のモットーを「いつも笑っていること」にしてみてはいかがでしょうか。

さて話は変わりますが、福智町では今、スポーツ振興やイベント開催を目的とした新しいアリーナの建設が計画されているとうかがいました。新アリーナができると、文化交流が活発に行われ、福智町の活性化につながっていくに違いありません。私も少しお力添えができればと思い、ご寄付をさせていただきました。私の願いは福智町がさらに活気づいていくことです。今後の福智町の発展を楽しみに、これからもみなさんとともに見守り、応援していきたいと思っております。

愛を込めて――ーKKO